

# 奈之良

Vol.1 曾尔&御杖村

曾尔高原 — 芒草无垠的“美丽村庄”

曾尔村的饮食魅力 — 好看不如好吃？

曾尔村的陶艺体验 — 遥想孩提时代

御杖村的生活 — 外国人的日本乡村体验

# 曾尔高原

## ——芒草无垠的“美丽村庄”



位于奈良县东部的曾尔村，有以芒草闻名的曾尔高原、樱花和红叶的名胜・屏风岩、雄伟险峻的铠岳・兜岳以及秘境・济净坊溪谷等。2009年，曾尔村加入了“日本最美丽的村庄”联盟。“日本最美丽的村庄”联盟是为了建设和保全有着独特景观和地域文化的日本村庄而建立的组织。现在已拥有54个町村、地域加盟成员。

9月的一个晴朗秋日，我们来到了曾尔村的曾尔高原。秋天的曾尔高原因无垠的芒草而闻名。闪耀着金色光辉的芒草海洋呈现出一派梦幻景象。在前往曾尔高原的途中，首先看到的是路旁盛开的波斯菊。美丽的波斯菊看上去经过了很好的打理，让人觉得整个村庄都非常干净整洁。我们一边期待着曾尔高原的景色一边驱车前进，不一会儿有异于其他险峻山峰、呈现出浅绿色的山头映入了眼帘。那便是曾尔高原了。站在高原的入口处时，因高高的芒草遮住了视线尚无法远眺景色，待沿着石阶稍稍走上去一点，一片迷人的景象便呈现在眼前：蓝天白云下，还没有变色的浅绿色高原上，一望无垠的芒草的柔软芒穗，随微风轻轻摇摆。若用相机将眼前的景色拍下，不用修饰直接就能成为一幅美丽的风景画。都说芒草的欣赏季节是10月-12

月，但是我们去时的9月已然十分美丽了。如果等到真正的季节到来，该会变的多么有魅力啊。

再往前走，就可以看见一个名叫“龟池”的小块湿地。这块湿地是一个有趣的葫芦形状，和一个名叫“阿龟”的美女有关的传说更是让人觉得趣味无穷。据说储藏在龟池中的地下河和周边涌出的水被认定为平成名水百选，被用作为奈良县唯一的当地啤酒的原料。曾尔高原可谓是蕴藏了曾尔村诸多魅力的宝库啊。

四处欣赏了一会之后，我们就曾尔村的景观保护问题采访了德田副村长。



**Q：曾尔高原上展开在整个山面上的景色真是太梦幻了。那么美丽的风景是怎样形成的呢？**

A：为了保存芒草，我们每年的3月下旬到4月上旬都会进行曾尔高原的烧山作业，即焚烧整座山。烧山是为了驱除害虫、防止树木生长。但在这之前还会在9月进行一次割草作业，以形成防火带，10月则会进行焚烧作业。

### 曾尔高原 — ススキが広がる「美しい村」 —

奈良県東部に位置する曾爾村には、ススキの名所・曾爾高原のほか、桜と紅葉の名所・屏風岩、険しく雄々しい鎧岳・兜岳や秘境・濟淨坊溪谷などがあります。平成21年、曾爾村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しました。「日本で最も美しい村」連合は、独自の景観や地域文化を持つ日本の村づくりとそのような村の保全を目指す組織です。現在、54町村・地域が加盟しています。

9月のある秋晴れの日、私たちは曾爾村にある曾爾高原を訪れました。秋の曾爾高原はススキが一面に広がる幻想的な風景で有名です。金色に輝くススキの大海原が広がります。

曾爾高原へ向かう道でまず目にとまったのは道沿いに咲くコスモスでした。きれいに手入れがされていて、村全体がきれいに整えられている印象を受けました。曾爾高原はどんな様子かと胸をときめかせながら車を進めると、他の険しい山とは異なる薄い緑の山が視界に入ってきます。そこが曾爾高原でした。

はじめに、ふもとに立って周りを見渡してみましたが、そこからは背の高いススキに遮られて景色を一望することができませんでした。そこで私たちは石段を少し上ってから、あらためて後ろを振り返ってみました。すると、目に飛び込んできたのは、真っ青な空と白い雲の下、まだ薄い緑のままの高原に、見渡す限りのススキのしなやかな穂がそよ風で一面に揺れている風景でした。まるでそのまま一つの風景画になってしまいそうほど本当に美しい風景が広がっていました。

一般的にススキの見ごろは10月～12月だと言われています。しかし、私たちの訪れた9月でも十分美しい風景でした。本格的なシーズンになったらどれだけ魅力的になるのか、想像が付きません。

さらに奥まで進んでいくと、「お亀池」という小さな湿原もありました。ひょうたんの形をしている面白い池ですが、「お亀」という美人についての伝説にも興味をかきたてられます。お亀池に蓄えられる伏流水や周辺に湧き出る水は平成の名水百選に認定されていて、奈良県唯一の地ビールの原料として使用されているそうです。曾爾高原は曾爾村の様々な魅力がたくさん詰まった宝箱と言えるかもしれません。



这些作业以前都是由村落的居民来完成，但随着老龄化的发展，在“曾尔高原保护会”之后，又以青年团等新的形式继承这一系列作业。这样通过世代的努力，烧山得以维持1000多年的历史。



**Q：欣赏美丽的芒草很容易，但要维持芒草的美丽风景是需要诸多努力的，这些以前我们都不曾想过的。**

A：为了保护包括曾尔高原在内的曾尔村全部的景观，村民们一直都在做各种努力。比如，一些有志村民组成的“曾尔街道风景维护队”，会在沿街的休耕田上种植向日葵、波斯菊等。其他地区的居民会在屏风岩附近砍伐树木，栽培红叶、山樱、杜鹃花等。

**Q：第一次来到曾尔村就能感受到曾尔村的美，都是多亏了勤恳努力的村民们啊。曾尔高原的风景固然很美，但是在我们的眼睛所看不到的、那些为了保全景观而辛勤努力的人也许才是最美的。**

A：自从加入了“最美丽的村庄”联盟以后，村民们对于保护村庄景色的意识也在不断发生改变。顺便提一句，要想加入“最美丽的村庄”联盟，除了日常生活中努力经营

的景观之外，还需要有自古以来乡土文化。曾尔村的“曾尔狮子舞”已有300年的历史，因其丰富的种类和高品质还被列入了奈良县无形民俗文化财产。



曾尔村的美在于自然景观，更在于为传承文化而努力的人们。秋天芒草的梦幻世界、静谧美丽的群山、努力保护景色的村民们，所有的一切构成了这个“最美丽的村庄”。只要有认真守护村庄的村民在，曾尔村今后一定还会变的更美好。曾尔村不愧是一个名符其实的“最美丽的村庄”。感谢副村长做出的详细介绍！



辺りを散策した後は、曾爾村の景観保全について徳田副村長にお話をうかがいました。

**Q：曾爾高原一面にススキが広がっている風景はとても幻想的でした。あんなに美しい風景はどのようにしてできあがるのでしょうか？**  
A：ススキを保存するために、毎年3月下旬から4月初旬に、曾爾高原の山焼き、すなわち全山を焼き払う作業を行っています。害虫駆除、樹木が生えないように山焼きが行われますが、それまでに、防火帯を作るため9月に茅刈（ヤッキリガリ）をし、10月末に焼く作業（ヤッキリヤキ）をします。昔は集落の住民によって作業を進めていましたが、高齢化に伴い「曾爾高原を守る会」に引き継がれ、さらに青年団など新しい形態で引き継ぎました。このように、各世代の努力によって、山焼きは約1000年以上の歴史を持つことができました。

**Q：きれいなススキを楽しむことは簡単なことですが、ススキの風景を維持するのにそれだけの努力が必要だと知りませんでした。**  
A：曾爾高原も含めて曾爾村全体の景観を保護するために、村民たちはいろいろな取り組みを行っています。たとえば、村民有志で作られた「曾爾街道風景づくり隊」が、街道沿いの休耕田でひまわりやコスモスなどを植栽する活動を行っています。他の地区の住民も屏風岩付近の木の伐採や紅葉、山桜、つつじの植栽などを行っています。

**Q：初めて曾爾村を訪れましたが、訪れてすぐに曾爾村の美しさに気づくことができたのは、地道な努力をしてくださる村民の方のおかげですね。曾爾高原の風景はもちろん美しいですが、私たちの目に見えないところで普段から景観保全のために努力している人々の姿の方がもっと美しいのかもしれません。**

A：「最も美しい村」連合に加盟して以来、村の景観に対する村民の意識も変わりつつあると感じています。ちなみに、「最も美しい村」連合に参加するための資格には、生活の営みにより作られた景観のほか、昔ながらの郷土文化もあります。曾爾村には300年の歴史を持ち、その豊富な種類と高い質で奈良県無形民俗文化財に指定されている「曾爾の獅子舞」があります。

曾爾村の美しさは景観と景観や文化を紡いでいこうとする人々の姿にあると感じました。秋のススキの幻想的な世界や静かで見えない山なみ、そしてその景観を保全する村民の方がそれぞれ「最も美しい村」を構成しています。村を大事に守っていく村民の方がかぎり、きっとこれからも曾爾村はさらに美しくなっていくことでしょう。曾爾村は本当に「最も美しい村」という名にふさわしい村だと実感しました。

色んなお話を聞かせていただいて、ありがとうございました。



## 曾尔村的饮食魅力

### —好看不如好吃？

如果说曾尔村的景色充实了旅行者的内心，那么满足了旅行者的胃的便是曾尔高原农场花园（Farm Garden）。除了曾尔村的特产贩卖区，这里还一并设置了可以品味使用当地特产的新鲜食材制作的西式料理的“芒草馆”、使用了曾尔村产的大米制作的米粉面包工坊“米之馆”、生产、贩卖奈良县唯一的地方啤酒曾尔高原啤酒的“麦之馆”以及温泉设施“龟之汤”。我们一起对在曾尔高原农场花园的曾尔村观光振兴公社的森田事务局长进行了采访，了解了曾尔村的“饮食”魅力。

**Q: 曾尔村的“饮食”，都有些什么呢。**

**A:** 曾尔村的代表特产有番茄、菠菜、雪莲果、鹿肉等。番茄味甜汁鲜，口碑特别好，从外村专程过来购买的人也很多。最近雪莲果也备受人们关注。因为雪莲果低聚糖含量高，所以是对减肥和被称为现代病的糖尿病、高血压等都有疗效的食材。现在还有售雪莲果的冰淇淋。

**Q: 在曾尔村能培育出美味蔬菜的原因是什么呢？**

**A:** 我觉得在于有澄澈的空气、水和昼夜温差大的气候。曾尔村位于奈良县和三重县县境的山地。因为昼夜温差大，所以可以培育出比较甘甜的蔬菜。

参观了农场花园以后，我们前去参观了并设在这里的“米之馆”和“麦之馆”。并对“麦之馆”的啤酒制造负责人进行了采访。

**Q: 曾尔高原啤酒的种类和特征是什么呢？**

**A:** 曾尔高原啤酒是正统派的德国啤酒。没有使用任何副原料。现在是奈良县唯一的地方啤酒。

**Q: 听说曾尔啤酒作为特产礼物很有名气。人气的秘诀是什么呢？**

**A:** 关键还是水。曾尔高原啤酒使用的是被选定为平成名水百选的超软水。这是在日本的古代龟传说中也有出现的泉水。虽然是地方啤酒，但是没有涩味，味道醇厚口感清爽，值得推荐。



在这个芒草高原被群山围住的山村中，有一个啤酒工厂，贩卖着销往全国的啤酒，这对于我们来讲很震撼。比如在韩国，说到啤酒，就会浮现出在城市的大工厂里进行大量生产的印象。

内心和胃都能得到满足的旅行才是最好的旅行，大家觉得呢。要不要来曾尔村体验一场“好看不如好吃”的旅行呢？

### 曾尔村的食の魅力 —やっぱり花より団子？—

曾尔村で旅行者の心を豊かにしてくれるのが景色なら、胃袋を満たしてくれるのは曾尔高原ファームガーデンです。曾尔村の特産品の販売コーナーのほか、地産の新鮮な食材を使用した洋風料理を味わうことのできる「ススキの館」や曾尔村産のお米を使用した米パン工房「お米の館」、奈良県内唯一の地ビールである曾尔高原ビールを生産・販売している「麦の館」、温泉施設「お亀の湯」が併設されています。

曾尔高原ファームガーデンで曾尔村観光振興公社の森田事務局長に曾尔村の「食」の魅力についてお話を伺いました。

**Q: 曾尔村の「食」と言えば、どんなものがありますか。**

**A:** 曾尔村の代表的な特産品は、トマト、ほうれんそう、ヤーコン、鹿肉などです。トマトは甘くておいしいと特に評判がよく、村外から買いに来られる方も多いです。最近では、ヤーコンも注目を浴びています。ヤーコンはオリゴ糖が多く含まれているので、ダイエットや現代人の悩みである糖尿病や高血圧に効能のある食材です。ヤーコンのアイスなども販売しています。

**Q: 曾尔村で美味しい野菜が育つ理由は何でしょう？**

**A:** 澄んだ空気と水、昼夜の気温差が大きい気候だと思います。曾尔村は奈良県と三重県の県境の山地にあります。昼夜の気温差が大きいので、より甘みのある野菜が育つのです。

ファームガーデンを見学させていただいた後は、併設されている「お米の館」と「麦の館」も見学させていただきました。「麦の館」でビールの製造担当者の方にもお話を伺いました。

**Q: 曾尔高原ビールの種類と特徴は何ですか？**

**A:** 曾尔高原ビールは正统派ドイツビールです。副原料は一切使用していません。現在、奈良県唯一の地ビールです。

**Q: お土産として人気だと聞きました。人気の秘訣は何ですか？**

**A:** 何と言っても水です。曾尔高原ビールは、平成名水百選にも選ばれた超軟水を使用しています。これは日本昔話のお亀伝説にも登場したおき水です。地ビールですが、独特のくせがなく、深いコクとスッキリしたのど越しが自慢です。

ススキの高原を山々が囲むこの村にビールの工場があって、ビールを全国に販売していることは私たちにとってちょっとした衝撃でした。たとえば韓国では、ビールは都市の大きな工場で大産量生産されているイメージがあります。

みなさん、心も胃袋も満たしてこそ最高の旅と言えるでしょう。曾尔村で「花より団子」はいかがですか？



## 曾爾村の陶芸体験

### —— 遥想孩提时代

这次我们还去了位于曾尔村的陶艺设施·曾赖窑，对安田老师进行了访问。等待我们的是一场置身于曾尔村的大自然中、像小时候玩粘土一样沉醉其中的陶艺制作体验。

### 关于曾赖窑——陶艺之于安田老师——

曾赖窑位于兜岳和铠岳山麓，是一个包围在绿色之中的陶艺设施。有作坊、美术展览室和招待所。美术展览室中陈列有喝茶的道具和猫头鹰形状的灯罩等陶艺作品。

安田老师于1984年开始从事陶艺活动，2011年在曾尔村开办了曾赖窑。

**Q：为什么想要在曾尔村从事陶艺工作呢？**

A：因为我不想心浮气躁地赶制作品，而是想眺望景色、和自己的内心对话，慢慢地进行创作。这样才能制作出和街上卖的截然不同的作品。

**Q：我们看到餐具的作品好像很多，有什么原因吗？**

A：对我们人来讲进餐是很重要的。吃饭时，人们总会看到餐具吧。不仅仅是将各种料理杂乱地摆在一起，而是要考虑器皿的组合，边吃饭边欣赏餐具，通过这样我觉得人们就可以在进餐中得到成长吧。

**Q：会有外国人来进行陶艺体验吗？**

A：有的。即便是英语说的不太好，通过手势和“push! push!”这样简单的英语单词我们也可以完成沟通。

### 关于在作坊进行的陶艺体验——push! push! ——

美术展览室的后面有一个作坊，我们在那里进行了通过炭火焙烧的简单的器皿制作体验。炭火焙烧是一种通过和炭一起烧制来形成花纹的陶艺手法。

用手揉柔软的土就可以使之变长。那土就像是儿时给了我们很多欢乐回忆的粘土。用搓好的土制成圆圈、或是平铺开即完成制作。刚开始还很急躁的我们，在不知不觉中变得沉默不语集中精力，时间一晃而过。真是没想到为了做成符合自己心意的器皿而专心制作是一件这么有趣的事。

连新手的我们也觉得易懂有趣，有着似曾相识的感觉。现在我们好像也听到了读者朋友们“我也想试一试！”的声音了呢。

很遗憾我们虽然没有进行体验，但是这里还可以进行使用陶轮的真正的陶艺体验。当然，体验者可以使用实际的陶轮制作物品，我们也真诚向您推荐。另外，体验者还可以留宿在招待所。

大家要不要也来这大自然中找回下热衷于做一件事的纯真童心呢？

※ 曾赖窑：<http://soraigama.com/index.html>



## 曾爾村での陶芸体験 — 子どもの頃に思いを馳せて —

今回、私たちは曾爾村にある陶芸施設・曾頼窯と安田先生のもとを訪ねました。そこで待っていたのは曾爾村の大自然の中で、まるで子どものころの粘土遊びのように無心になって陶芸に没頭できる体験でした。

### 曾頼窯について <安田先生にとっての陶芸>

曾頼窯は兜岳と铠岳のふもとにあり、緑の自然に囲まれた陶芸施設です。工房とギャラリー、ゲストハウスがあります。ギャラリーにはお茶道具や桌の形をしたランプカバーなど陶芸作品が展示されています。安田先生は1984年に陶芸活動を始め、2011年に曾爾村で曾頼窯を開かれました。

**Q：なぜ曾爾村で陶芸活動をされようと思ったのですか。**

A：作りたいものを、イライラしたり急ぐことなく、景色を眺めたり、自分とじっくり向き合いながら製作したいと思ったからです。街の中で作るものとはまったく違うものを製作できます。

**Q：食器の作品が多いようですが、何か理由がありますか。**

A：人にとって食事はとても大切です。食事をするとき、人は器を見ますよね。ただ色々な料理を雑然と並べるだけでなく、お皿のセッティングを考えることや、お皿を眺めながら食事することを通じて、食の中で人が育っていくのかなと思います。

**Q：外国の方も陶芸体験に来られますか。**

A：来られますよ。たとえ英語が十分に話せなくても、ジェスチャーや「push! push!」など簡単な英語でコミュニケーションをとることができます。

### 工房での陶芸体験について<push! push!>

ギャラリーの後ろにある工房で、私たちは炭火焼き締めによる簡単なお皿作り体験をさせていただきました。炭火焼き締めは、炭と一緒に焼き上げることで模様をつける陶芸技法です。やわらかい土を手にとって巻いて、長くしていきます。土はまるで子供のときに楽しく遊んでいた粘土のようです。それを輪にして、あるいは伸ばして焼くと完成です。はじめは騒がしくしていた私たちも、いつの間にか黙々と制作に集中し、時間はあっという間に過ぎていました。自分のイメージに合う形を作ることにひたすら熱中することがこんなにも楽しかったとは・・・。初心者の私たちにも大変分りやすく、面白くもあり、どこか懐かしくもあるような体験をすることができました。そろそろ読者の方の「私もやってみたい!」という声が聞こえてきそうですね。

残念ながら私たちは体験できませんでしたが、ろくろを使用する本格的な陶芸も体験することができます。もちろん、体験者の方が実際にろくろを使用して作品を制作できますので、みなさんにはそちらもお勧めしたいと思います。なお、体験者の方はゲストハウスで宿泊することもできるそうです。

ひとつのことに熱中する子どもの心を大自然の中で思い出してみませんか？

公式ホームページ <http://soraigama.com/index.html>

# 御杖村的生活

## ——外国人的日本乡村\*体验

从曾尔村出发向东南驱车约30分钟，就可到达一个名叫御杖村的村庄。位于奈良县和三重县交界处的御杖村有条名叫伊势本街道的路，通过这条路可以和伊势之间进行频繁往来。在这个约有2,000人口、90%被山林覆盖的小村庄中，生活着一位名叫Lingy Au的外国人。Lingy作为英语指导助手在小学和中学教孩子们英语。为了了解一个外国人在日本“乡村”的生活体验，我们前往御杖村进行了取材。

一到村子，Lingy就和他的同事热情地迎上前来。好像一直都生活在村子里的村民一样欢迎我们的Lingy，其实是1年前从新西兰来到日本，现在看起来已经完全融入到村子里了。Lingy和我们一起走向村子中心的体验交流馆，在那里我们一边制作御杖村的特产魔芋\*\*，一边对御杖村的生活进行了解。



### Q：对御杖村的第一印象如何？

A：到达村子的第一天是晚上，又黑又可怕。但是村子里有山有水景色还是非常漂亮的。我现在仍记得和同事初次见面时大家对我很亲切。

### Q：听说御杖村的外国人很少见。在语言沟通上有什么问题吗？

A：刚来这里时我只会“你好”和平假名，现在已经能看懂片假名了。和想说的话基本上都靠肢体动作表达时比，我觉得自己的日语能力每天都在提高。对于语言不通的问题，因为我在来日本前就做好了心里准备，所以没有觉得后悔不甘过。在周围只有日本人的环境中，靠自立在日本生活的机会只有现在，所以我一直用积极的态度努力着。



幸运的是我的日本人同事很有耐心，也很体谅我，所以我很心安。我觉得这一年来他的英语也提高了呢。

### Q：在御杖村的“乡村生活”中有没有什么特别困难或者吃惊的事呢？

A：交通和移动很不便。和朋友见面或是参加什么活动时有时会乘坐电车，但是要先开车一个多小时才能到达乘坐电车的车站。有时受台风影响村子通向外界的路被封，就会连村子也出不去。家附近也没有超市或是便利店，很不方便。所以总是在周末一并购物。要考虑下周做什么吃也很头疼。还有被群山围绕的御杖村冬天非常寒冷。去年水管就被冻住过。当时看到不能洗澡和冲厕所时，我觉得很

## 御杖村での生活 —外国人が経験した日本の田舎\*—

曾爾村から車で30分ほど南東に向かうと、御杖村という奈良県最東端の村があります。奈良県と三重県の県境に位置する御杖村には伊勢本街道が通っていて、伊勢との往来も盛んです。

村の90%が山地で人口は約2,000人という小さな村ですが、リングー・オウさんという一人の外国人が住んでいます。リングーさんは英語の指導助手として御杖村にある小・中学校で働いています。今回、外国人として珍しい経験をしているリングーさんに日本の田舎生活についてインタビューするため、御杖村を訪ねました。

村に着くと、リングーさんと彼の同僚が元気な声で出迎えてくれました。まるでずっと住んでいる村の人のように私たちを歓迎してくれたリングーさんは、ほんの1年前にニュージーランドから来日したそうですが、もうだいぶ村に馴染んだ様子でした。リングーさんと私たちは村の中心にある体験交流館へ向かい、そこで御杖村の特産品であるこんにゃく\*\*作りを体験しながら、御杖村での生活について話を伺いました。

### Q：御杖村の第一印象を教えてください

A：はじめて村に着いたのは夜だったので、暗くて不気味な雰囲気でした。ただ、山と川があって景色がとてもきれいな場所だと思いました。勤務先の方に出った時に、皆さんがとても優しくったことを今でもよく覚えています。

### Q：御杖村では外国人は珍しいそうですね。言葉の問題はありましたか？

A：来県した当初は「こんにちは」とひらがなしか理解できませんでしたが、今ではカタカナも理解できるようになりました。自分が言いたいことのほとんどをジェスチャーで表現していた頃と比べると、日本語は毎日少しずつ上達していると思います。言葉が通じないことについては、日本へ来る前から覚悟していたことなので悔しいと思ったことはありません。周りに日本人しかいないような環境の中で、自立して日本で生活を送る機会は今しかないので、前向きな姿勢で取り組んでいます。幸いなことに日本人の同僚はとても我慢強く、また理解がありましたので心強かったです。この一年の間に彼の英語も上達したと思いますよ！

### Q：御杖村での生活で苦勞したことや驚いたことはありますか？

A：交通や移動には苦勞しています。友達に会う時や何かイベントに参加する時に電車を利用することがありますが、よく使用する駅まで向かうには車で1時間ほどかかります。台風の影響で村から出る唯一の道路が通行止めになると、村の外へ出られなくなることもあります。家の近くにスーパーとコンビニがないのも不便です。いつも週末にまとめて買い物もしています。次の週末まで何を作って食べるかを考えるのも大変ですね。

震惊。请教了同事后，我知道了不关水龙头让水一直流就可以了。这样早上冻住无法使用的水管，到了晚上就可以用了。

**Q：那么，在御杖村最开心的事是什么呢？**

A：夏天的祭典活动\*\*\*最开心了。刚来御杖村时是去年的8月份，我受同事的邀请第一次参加了日本的祭典活动。



之前总是能听到“花火”呀“祭典”啊什么的，但是因为我完全不懂日语，所以一直到当天都不知道发生了什么。我和同事一起帮忙出展夜市的摊位、准备花火大会、最后一起收拾整顿。美味的食物、村民们热情的介绍，对于刚来日本不足一个月的我来说，留下了非常难忘的回忆。

采访时，Lingy和他的同事像亲密的朋友一样互相叫着对方的昵称，用力所能及的日语努力向我们介绍在御杖村的生活，不禁让人觉得生活在御杖村的Lingy比会说日语的我们和村民们的交流更深、体验的日本文化更多。

也许对文化进行深刻体验的秘诀，不是流畅的语言，而是靠积极向前的心态吧。所以大家在旅行时，不要害怕语言不通，一定要积极地去尝试沟通交流！



それから、山に囲まれている御杖村の冬はすごく寒いです。去年は配水パイプが凍ってしまいました。シャワーとトイレが使えなくなった時は、ショックを受けました。同僚に相談すると、パイプの水を流し続けておくとよいと教えてもらいました。朝凍って使用できなかったパイプは、夕方には使えるようになっていました。

**Q：それでは、御杖村で一番楽しかったことは何ですか？**

A：やはり夏の祭り\*\*\*ですね。御杖村へ来たばかりの去年の8月頃、同僚に招待されて日本の祭りに初めて参加しました。「花火」と「祭」という言葉を何回か耳にしましたが日本語がまったくわからなかったので、当日まで何が行われるのか実は全く知らなかったです。同僚と一緒に屋台や花火大会の準備・最後の片づけを手伝いました。おいしい食べ物がたくさんあったり、村の人にたくさん出会ったり、日本に来てまだ1か月も経たなかった私にとっては忘れられない良い思い出になりました。

インタビューの間、リンギーさんは彼の同僚と親しい友達のようにあだ名で呼び合い、御杖村での生活について片言の日本語でしたが一生懸命話してくれました。彼のそんな姿は、日本語ができる私たちより御杖村で生活しているリンギーさんの方が村の人とふれあい、日本の文化を深く経験しているのではないかと感じさせます。

文化を深く経験する秘訣は、流暢な言葉よりも前向きな姿勢や心構えなのかもしれません。旅行される際は、言葉が通じないからと臆病にならず、ぜひ積極的にコミュニケーションを図ってみましょう！

嗯？“体验交流馆怎么样？”体验交流馆是由小学的木制校舍改造而成，别有一番风味。在这里可以体验烘焙咖啡、魔芋制作、竹子・稻草手工艺品制作、手打荞麦等在城市中很难感受到的宝贵体验。（※需预约。）旅行中的游客也可以将此作为一个休息处。我们把做好的魔芋带回了家，觉得比之前吃过的任何魔芋都美味。多谢款待了！

**\*乡村**

指人口和住宅较少的地区。虽然和城市比有很多不方便的地方，但是保存有各种传统风俗和文化。还会举办很多夏日祭典活动等传统的仪式活动。

**\*\*魔芋**

魔芋是日本的传统食物。因卡路里含量低而被作为健康食品受到人们喜爱。其特征是口感像果冻一样富有弹力。

**\*\*\*祭典活动**

祭典活动是人们聚集在神社等地举行庆祝活动或祈愿愿望达成。8月是祖先的灵魂返回现世的“盂兰盆”时节，所以在全国各地都会举办夏日祭典活动。



ん、「体験交流館はどうだったか？」ですか？体験交流館は小学校の木造校舎を改築した建物なので、とても趣がありました。コーヒーの焙煎やこんにやく作り、竹・ワラ細工作り、そば打ちなど都会ではなかなか体験できない貴重な体験をすることができます（※要予約）。旅行者の休憩所としても利用できます。作ったこんにやくは持ち帰って食べましたが、今まで食べたどのこんにやくよりも美味しかったです。ごちそうさまでした！

**\*田舎**

人口や住宅が少ない地域のこと。都会に比べて不便なこともありますが、様々な伝統的な風習や文化が保存されています。夏祭りなど伝統的な行事も数多く開かれます。

**\*\*こんにやく**

こんにやくはこんにやく芋から作られる日本の伝統的な食品です。低カロリーなので健康食品として人気があります。ゼリーのように弾力のある食感が特徴です。

**\*\*\*祭り**

祭りはお祝い事がある時や願い事の成就を祈願して、人々が神社などに集う行事です。8月には先祖の霊魂が現世に還ってくる“盆”という時期があり、全国各地で夏祭りが開かれます。

## 曾尔&御杖村



### 奈良县宇陀郡曾尔村、御杖村

## 创刊语

大家好！

我们是在奈良县国际观光课工作的国际交流员，主要从事国际交流、观光业务等相关工作，发挥着促进奈良县和海外交流的桥梁作用。

为了将外国人眼中奈良县的魅力介绍给各位外国人，我们创办了《奈之良》。本刊是我们对在奈良县发现的魅力和有趣的事亲自进行取材、撰写的。

希望本刊能让各位对奈良县产生兴趣，或让大家发现奈良的新魅力。

第1期我们选择了自然景观丰富的曾尔村和御杖村。因为绿色植被繁盛的地方固然还有很多，但是自然和人融为一体的曾尔村独特的美，和御杖村的“田园生活”的趣味并非处处可见。

最后，谨向协助本次取材的曾尔村和御杖村的诸位致以深深的谢意。

奈良县全体国际交流员

### 第1号の発行にあたって

こんにちは！

私たちは奈良県国際観光課に勤務する国際交流員です。奈良県と海外の交流を深める架け橋となるべく、日々、国際交流・観光業務に従事しています。今回、外国人の目線で見たい奈良県を外国の方に紹介したいと考え、『奈の良』を創刊しました。本誌は外国人である私たちが奈良県で見つけた魅力やおもしろいことについて自ら取材し、記事にしたものです。本誌が奈良県に興味を持つきっかけや外国人が感じる奈良の魅力を発掘する手がかりとなれば嬉しく思います。

第1号は自然あふれる曾爾村と御杖村を取材しました。緑の豊かな場所は他にもたくさんありますが、自然と人が一体となって作り出す曾爾村ならではの美しさや、御杖村での「田舎生活」のおもしろさがあります。

最後になりますが、今回の取材にあたり協力していただいた曾爾村と御杖村のみなさまにお礼申し上げます。

奈良県国際交流員

### 《奈之良》発行地:

奈良县观光局国际观光课

若本刊有意见或疑问等请联系以下:

〒630-8501 奈良市登大路町 奈良县观光局国际观光课

URL: <http://www.pref.nara.jp/33842.htm>

発行: 奈良県国際観光課 (〒630-8501 奈良市登大路町30番)